

平成27年8月5日（水）開催
市民プラザ太久保 多目的ギャラリー

公共施設再生について、みんなで話し合おう！～公共施設再生計画説明会～

Aグループ

観点1：保有総量の圧縮（施設再編・再配置）について

- 公共施設の統廃合よりも、新市庁舎は、市民目線で修正を
- 高齢者が増えるので駅近くに施設を作ることが必須、できなければ、駐車場を完備。
- 市営住宅の民営化
- 現在の建物を補修する際、エレベーター・駐車場・防音施設は必ず必要。
- コミュニティ施設の廃止反対で、利用者の不平等が発生する。
- 公共施設は、防災拠点。特に小中学校、公民館。
- 学校は、地域の拠点。（コミュニティ）
- 中学校の統廃合（あるいは、他の施設との統合）
- 少子高齢化の時代だからこそ、歩いて行けるところに公共施設
- 施設再編のうち、小中学校の複合は、教育上いじめの問題があって不適當。

観点2：老朽化対策の具体案について

- 建築コストを下げるために利用目的に沿った適正な構造物
- 豪華、見栄は関係ない。
- 将来の公共施設の計画は、いずれ寿命がくるので、壊しやすいように造る。
- 東京で実施しているように、小学校・図書館・公民館を高層化して、土地の確保を少なくする。
- 増改築の資産化→償却

観点3：財源確保策について

- 子育て世代に住んでもらうために、さまざまな優遇をする。
- 住民税を確保する。
- 湾岸地域に会社や工場の誘致をして税収を増やす。
- 都市開発をした事業者に開発税という形で負担してもらう。
- 事業所における税負担適正化（儲けた分だけ社会に還元）
- 公共施設の人件費節約のために指定管理者制度を積極的に取り入れてほしい。

- 税収が増えないのなら節約することが重要。市議会議員を減らすべき（現在浦安市より多いので）
- 相続税の増加
- 行き先のなくなった預貯金をすべて市町村へ。
- 税源(国・都道府県・市町村のバランスを変えていく。)

Bグループ

観点1：保有総量の圧縮（施設再編・再配置）について

- 減らすのではなくやはり地域に密着した施設、図書館、公民館は残してほしい。
- 統廃合で公民館が減るのは地域のサークルが不可能になってしまう。
- 市民の目線を生かす組織
- ハードウェアだけでない視点
- 大学生と交流を持ち、街づくりを考える。
- 地域にある大学などのコラボレーション。
- 利用者減少度合いを調べて、公民館の統合は必要と感ずます。
- 拠点的な図書館。
- 小学校を地域のコミュニティにするための住民の教育
- 文教住宅都市としてぜひ図書館は整備してほしい。なくさず維持してほしい。
- 老朽化している公民館等は修理可能な所はやってそのまま維持してほしい。
- 藤崎図書館の存続

観点2：老朽化対策の具体案について

- 鉄筋コンクリートだけでない工法を考える。
- 省エネ・長寿命の資材や施工方法をとる

観点3：財源確保策について

- スポーツ施設の使用料の見直し（利用料アップ）
- 高齢化になる一方なので高齢者が過ごせる施設の財源確保はひとつ欲しい。
- 駅近くの市街化農地の住宅街化を税の特例等を設定して順次進めることにより、若手世代の減少度を遅らせる。（税収の増加）
- 若い世代層を増やす施策（住宅問題など）

- 市庁舎建設に財源を使いすぎるのではなく、他の公民館・図書館は維持してほしい。
- 東京オリンピックの建設時期と重なる計画の内2020年以降にできるものは、延期する。(資財・人件費の高騰対策として)
- 市債の発行額を年々減少させながら実行できる計画にしてほしい。

Cグループ

観点1：保有総量の圧縮（施設再編・、再配置）について

- 豊かな施設を造ると人が流入し集まる。(総量圧縮)
- 命に係わること以外は現状と同じに利用したいという考えを改める。
- 公民館内に児童館・老人施設を併設してほしい。
- 学校を拠点とする施設は子に関する施設も残してほしい。
- 業務委託 保育園・幼稚園・図書館・公民館
- 遊休地の売却・賃貸・リース

観点2：老朽化対策の具体案について

- リノベーションは不可(その場しのぎ)
- 100年使用可能な建築を
- 不在住宅の活用…市で改修して公共施設に利用する
- リノベーションの方法によっては建替えより高くつくのでは。(建替えを基本とするべき。)
- 施設を計画的にメンテナンス計画(県とジョイント)

観点3：財源確保策について

- 大久保公民館等一等地といわれている所に
- 等価交換方式
- 財源は不要である。
- 費用を作るため未使用の土地を売るという説明があったが、土地を売るのではなく、有効活用する(例：市川市アイリンクタウン)
- 利用度の低い施設を売却するということだが、公共施設として利用の少ない場所が高値で売れるのか心配。
- 経費削減・人件費・消耗品・他

- ネーミング・スポーツ施設・大型施設
- 業務委託・備品・消耗品（受託者との契約）
- 遊休地の売却・賃借
- 習志野市は財源確保が下手である。